

林いさお通信



Together !!

ブログ : <http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228

討議資料 No. 49 厚生文教所管事務調査 21年11月2日 林いさお後援会 共に!!



生ごみ等有機物を発酵攪拌する施設（茂木町）

10月21日、22日の二日間にわたって厚生文教常任委員会の所管事務調査を実施しました。今回の視察地は、群馬県高崎市の自校式給食センターと栃木県茂木町の生ごみ等堆肥化施設の二ヶ所です。

厚生文教常任委員会 所管事務調査

三芳町の学校給食センターは、建築されてから36年が経過し老朽化が進み、今年度、建設検討委員会が設置される予定です。現在、当町では給食センターで作られた給食を小学校5校、中学校3校に配送するセンター方式を採用しています。高崎市の学校給食はそれぞれの学校で給食を作る自校方式を採用しており、新たに高崎市と合併した近隣の市町村でも順次自校式に変更しています。建設費用等も含めて、当町での給食センター建設にあたって、自校式の可能性を調査しました。

●高崎市自校式給食センター調査目的

三芳町の学校給食センターは、建築されてから36年が経過し老朽化が進み、今年度、建設検討委員会が設置される予定です。

●茂木町生ごみの堆肥化リサイクルセンター調査目的
三芳町は、ふじみ野市と共同で生ごみ処理を行っています。平成28年度の稼働を目標に焼却施設とリサイクルセンターの建設に向けて検討委員会が協議を重ねています。しかし、生ごみの堆肥化は検討課題になっていません。
茂木町では、生ごみ等有機物をリサイクルしている「美土里館」を運営しており、当町での焼却ごみの減量、生ごみを堆肥化した堆肥を使用することによって循環型農業の振興、平地林の保全等に役立てることができると調査しました。

★『上富まつり』山車曳き廻し★



山車とお稚児さんと島田実行委員長

11月1日（日）第3回『上富まつり』が開催されました。平成10年三富新田開拓300年を記念し、山車は完成したものです。
『この地を開拓した先祖に感謝し、地域の活性化や未来を背負って立つ子供達に、夢とふるさとへの誇りをもってもらいたい。』と島田喜久雄実行委員長は話していました。
子供達100人が山車を曳き、区役所、農家組合、青少年育成会、PTA、地元消防団、交通安全協会等地域の皆さんが心一つにして行う上富の一大イベントです。今回の開催は再来年。上富まつりが終わると、ケヤキ並木の紅葉も一段と深まっています。

和光市事業仕分け

開催される！

10月17（土）、18日（日）に和光市で事業仕分けが行われ傍聴しました。（7月開催の富士見市も傍聴）
政権が交代され、にわか事業仕分けが注目を集めています。事業仕分けは、



和光市で開催された事業仕分け

国や自治体が行なっている事業を①予算項目ごと②「そもそも」必要かどうか、必要ならばどこがやるか（官か民か、国か地方か）について③外部の視点で④公開の場において⑤担当職員と議論して最終的に「不要」「民間」「国」「都道府県」「市町村」などに仕分けしていく作業です。
公開の場での外部による再評価は有意義だと思いますが、町の実態をどこまで把握しているか、また市民の方が仕分け人になる場合の専門的な知識の有無など課題もあるように感じました。